

毎年7,8月は、夏本番となり、海水浴に行かれる機会も増えるところです。

ところで、**離岸流**と**ヘッドランド**という言葉を知っていますか？

海水浴は楽しい反面、恐ろしいことも沢山あります。

子供から大人の方まで、是非とも、知ってもらいたい知識です。

ご存知のとおり、神栖市から大洗町までの約70kmに及ぶ鹿島灘海岸は、風光明媚な景勝地に恵まれた中、海水浴場が多く存在し、夏季期間中、地元のみならず他県からも多くの海水浴客やサーファーなどで賑わいます。

しかし、この時期、必ずと言ってよい程、**離岸流**による事故者、犠牲者が絶えません。鹿島灘海岸では、過去10年間、144人が離岸流に巻き込まれ、うち26人が亡くなっています。

離岸流は、どの海岸でも発生する可能性があります。防波堤や**ヘッドランド**のような突起物がある海岸は特に離岸流が発生しやすくなっていますが、残念なことに、**離岸流**や**ヘッドランド**という言葉自体を知らない人がほとんどです。

そこでこの度、離岸流とヘッドランドについて、次のとおり解説しましたので、安全教育の一環として活用されますことを切に願うところです。

なお、本学習の後、児童や生徒から、ご父兄・ご兄弟へ伝えるよう、依頼するのも一計かと思えます。

離岸流とは

離岸流が発生する原理

離岸流の大きさと強さ

離岸流の速さ

離岸流に巻き込まれたら

ヘッドランドとは

ヘッドランドの形と大きさ

ヘッドランド周辺でなぜ、離岸流が発生しやすいか

ヘッドランドの魔性性

最後になりますが、海水浴を楽しむ場合、プールと違って、急に足がとどかなくなったりと、油断すると事故に繋がります。

楽しい海水浴をするために、①遊泳禁止場所では泳がない ②遊泳禁止発令時は泳がない ③海水浴場の開設期間に泳ぐ ④飲酒したら泳がない ⑤海の怖さを知ろう ⑥無理をしない

以上の6つを守って下さい。

離岸流とは、海岸から沖へ向かう速い潮の流れのことです。離岸流について茨城県内の地元漁師の間では、「だし」とか「沖だし」と呼ばれ、古くからその存在は知られていましたが、今から10年程前、海上保安庁が日本海で実証研究を行い、その存在が科学的に明らかになりました。

離岸流が発生する原理について、沖から海岸に向かう波や風により、海水はどんどん岸に打ち寄せられますが、この打ち寄せられた海水が沖に戻ろうとします。これが離岸流です。海の中に、突然、川のような流れが発生するようなものです。

離岸流の大きさは、海岸の構造により異なりますが、長さは沖へ数十メートルから数百メートルに及び、幅は10～30メートル程度です。

離岸流の速さは、秒速1～2m以上といわれ、時速に換算すると3.6～7.2km/h以上となります。人の徒歩と同じ位で、大したことはないと思われがちですが、河川の急流と同じ速さです。離岸流に巻き込まれると、流れに逆らって泳ぐことは困難であり、泳ぎの上手な人でも溺れてしまう恐れがあります。大人でも膝付近まで離岸流のある海水に浸かると、簡単に足をすくわれます。

離岸流に巻き込まれたら、あわてずに、流れに逆らわず、岸と平行に泳いで抜け出し、それから岸に向かって泳ぐことです。しかし、離岸流に巻き込まれるということは、誰もが初めての経験で、パニックに陥り易いといわれています。そのためにも、定められた海水浴場で、監視員が近くに居る場所で泳ぐことが大切ですが、少なくとも仲間の内、1人は泳ぐ者を見守り、万が一の際は監視員に直ぐ通報出来るようにしましょう。

ヘッドランドとは、海岸の砂の流出を防ぐために建設される人工岬のことです。近年、河川から供給される土砂が減少したことや、海岸に出来た構造物により砂の移動が妨げられた結果、砂浜の浸食が深刻化しました。このため、砂の侵食を防ぐ目的で、昭和60年度から平成21年度にかけて、大洗町から神栖市までの海岸に33基のヘッドランドが造られました。

ヘッドランドの形と大きさについて、船のいかりの様な形をしており、海岸線に垂直に伸びる長さ150メートルの突堤部分と、先端についた横幅100メートルの半円形のヘッド部分からなっています。なお、ヘッド部分は水深が急に深くなっており、溺水事故も多く発生しています。

ヘッドランド周辺でなぜ、離岸流が発生しやすいかについてですが、確たる論証は未だ確定していませんが、先ほど、離岸流が発生する原理として、沖から海岸に向かう波や風により、海水が岸にどんどん打ち寄せられると説明しましたが、この際、海岸にヘッドランドの様な突起物があると、打ち寄せられた海水の圧力がヘッドランド周辺に集中し、その圧力がヘッドランドの岸から沖へ沿うように、海水が流れ易くなるためともいわれています。実際、ヘッドランド周辺での離岸流による事故は、一般の海岸に比べ6倍にも及んでいます。

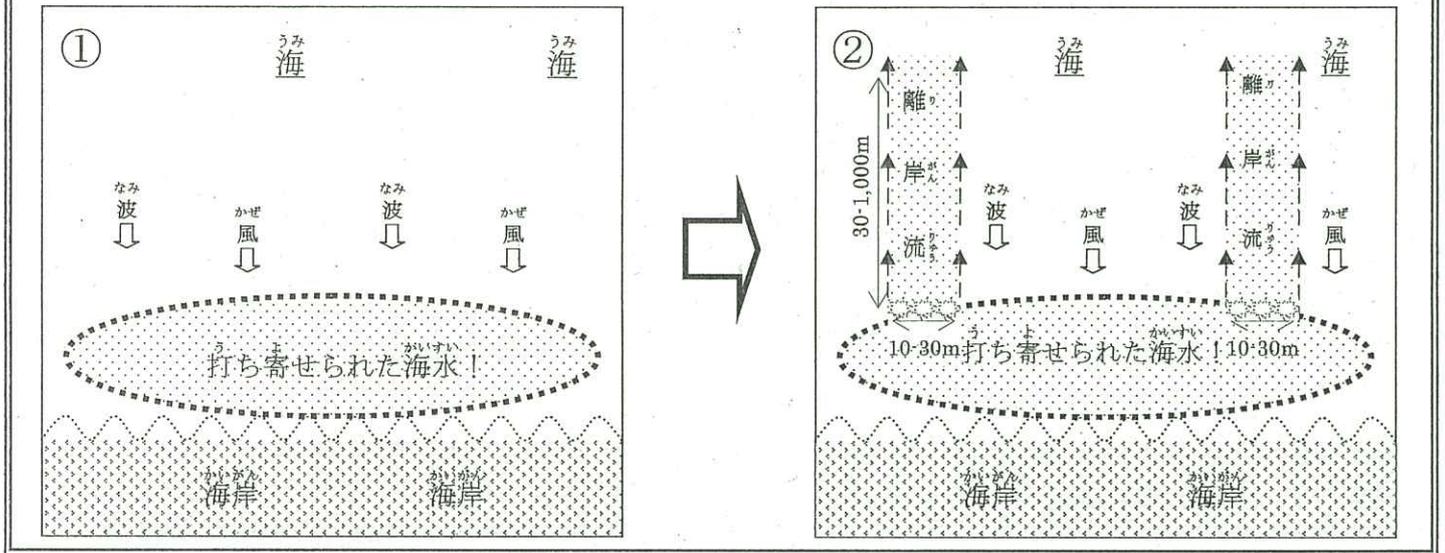
ヘッドランドの魔性として、内カサ部分の砂浜が、小さなプライベートビーチの様で、一見、子供の砂遊び場に最適と思われがちですが、離岸流はこの内湾をえぐるように流れてきます。このため、児童が犠牲になる痛ましい事例も発生しています。

因みに、内カサ奥の海面では、3～5分間隔で傘の端への流れが生じ、そこから沖合いへは更に強い流れが発生しているとのことで、サーファーらはこの流れを利用し、沖合いへ移動するとのことです。こんな海面で、子供が砂遊びの感覚といえども、膝まで足を海面に入れていたら、海中に引きずられるのは一目瞭然です。

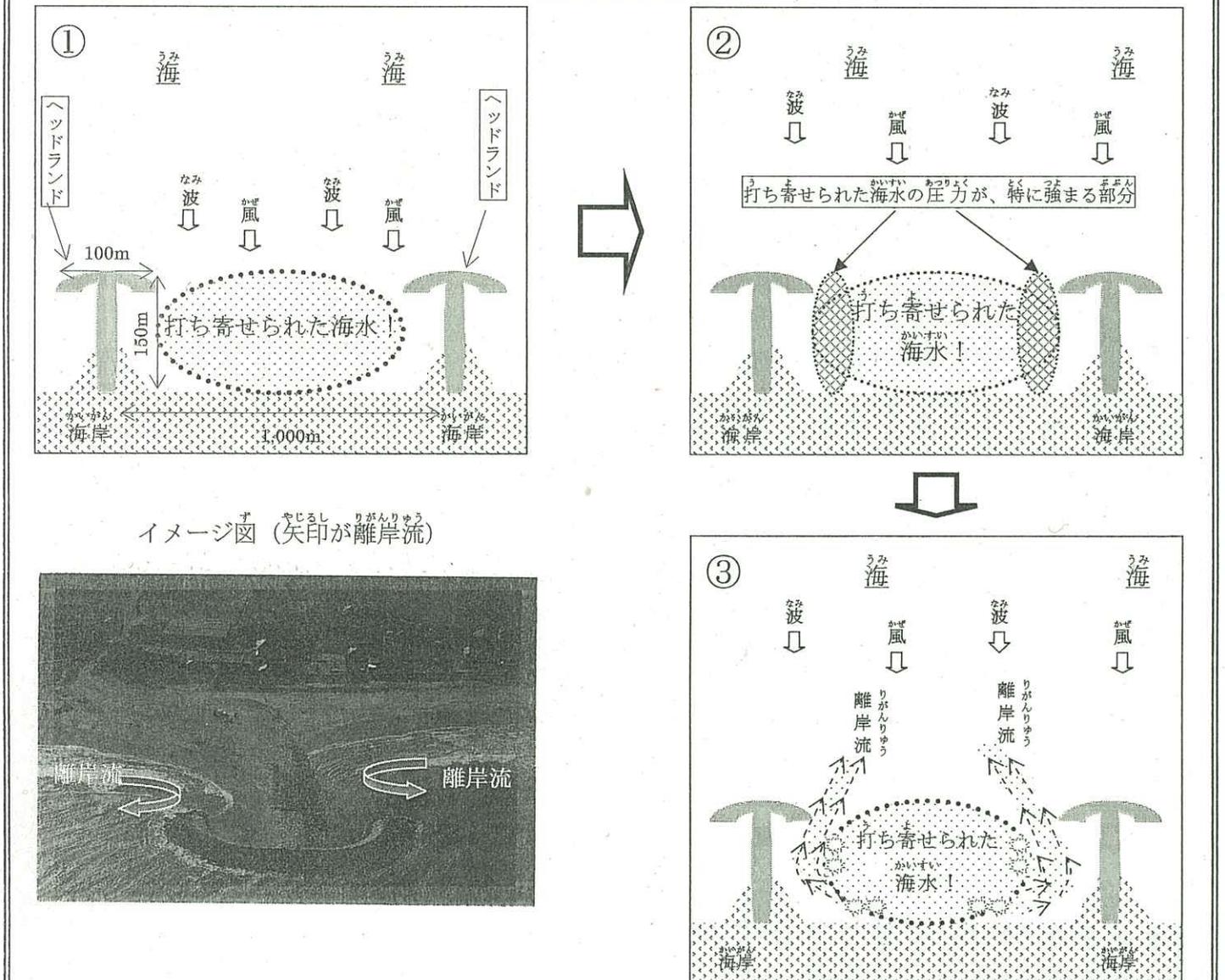
ヘッドランドの近くで発生する離岸流のイメージ図



りがんりゅう はっせい
1 離岸流は、なぜ発生するのか？



りがんりゅう はっせい
2 ヘッドランドでは、なぜ離岸流が発生しやすいのか？



イメージ図（矢印が離岸流）

